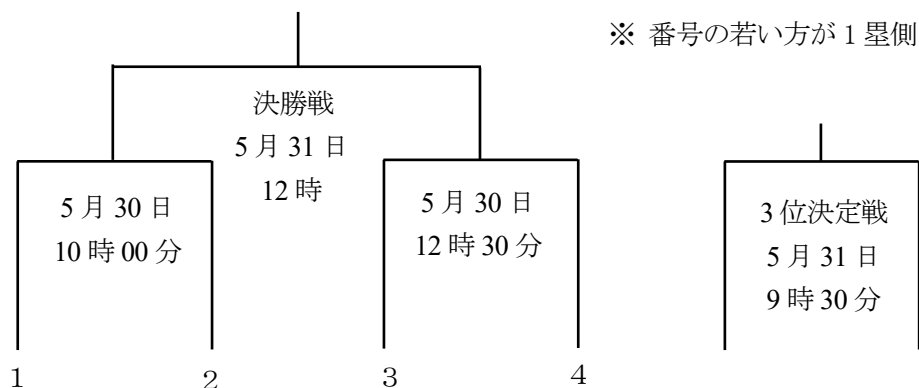


第 37 回北信越地区高等学校軟式野球大会（令和 8 年度春季）

開催要項

- 1 名 称 第 37 回北信越地区高等学校軟式野球大会（令和 8 年度春季）
 - 2 期 日 令和 8 年 5 月 30 日（土）、31 日（日） 2 日間
※雨天順延 予備日 6 月 1 日（月）
 - 3 会 場 メタルテック飯田スタジアム 飯田市三日市場 1986 TEL 0265-25-5588
 - 4 主 催 北信越地区高等学校野球連盟
 - 5 主 管 長野県高等学校野球連盟
 - 6 後 援 長野県教育委員会、飯田市、飯田市教育委員会
朝日新聞長野総局、毎日新聞長野支局
 - 7 参加選手資格 日本高等学校野球連盟の制定する令和 8 年度大会参加者資格規定による。ただし、令和 8 年度に硬式野球選手として登録された者ならびに母校を背景としたクラブチーム以外の野球チームに登録または所属した者は出場することはできない。
各県高等学校野球連盟軟式部に加盟した学校に限る。
 - 8 試 合 球 全日本軟式野球連盟公認の M 号球（ケンコー）を使用する。
 - 9 参 加 校 長野県 2 校、新潟県 1 校、富山県 1 校、計 4 校
 - 10 入 場 料 無料
 - 11 参加申し込み 5 月 26 日（火）12 時までに所定の選手資格証明書をメールにて提出すること。
また、原本を公式練習の際に提出すること
提出先 長野県高等学校野球連盟 海沼 孝典 宛
連絡先 〒380-8515 長野県長野市上松 1-16-12
長野高等学校 海沼 孝典
TEL.026-234-1215 FAX.026-234-3500 携帯.090-1550-5589
 - 12 組み合わせ抽選 5 月 26 日（火）16 時 30 分、長野県高等学校野球連盟事務局において公正に代理抽選（オンライン抽選）を行う。なお、抽選は次の原則に従う。
① 同一県チームは、1 回戦で対戦しない。
 - 13 大会本部 メタルテック飯田スタジアム 飯田市三日市場 1986 TEL 0265-25-5588
 - 14 開・閉会式 5 月 30 日（土）午前 8 時 45 分から開会式。
5 月 31 日（日）決勝戦終了後、閉会式を長野県営飯田野球場で行う。
開会式 閉会式
① 選手・役員整列 ① 選手・役員整列
② 優勝旗返還 ② 表彰
③ 選手宣誓 ③ 閉会挨拶
④ 一同退場 ④ 一同退場
- 開会式には、参加する各チームとも午前 8 時 30 分までに全員ユニフォームを着用して、メタルテック飯田スタジアムの所定の場所（後日指示する）に集合してください。
 - シューズについては、アップシューズで統一してください。
 - 選手宣誓は長野県代表校（○○高校 ○○ ○○）とする。
 - 入場時のプラカード持ちは、選手、選手と同じユニフォームを着用した部員（背番号なし）、女子部員のいずれかとする。女子部員の場合、選手と同じユニフォームを着用するか、制服・黒のローファー靴（または白の運動靴）とする。
 - 第 3 位の賞状授与は、3 位決定戦終了後に行う。（主将はホームプレート前に）

15 組み合わせ



16 審判委員 長野県高等学校野球連盟審判委員

17 経 費 出場チームの旅費・宿泊費は全額各チーム負担とする。

18 大会前日（5月29日（金））の公式練習会場割り当て（案）

練習時間	メタルテック飯田スタジアム
10：00～11：30	松本工業高等学校
11：30～13：00	松商学園高等学校
13：00～14：30	新潟商業高等学校
14：30～16：00	富山商業高等学校

※今大会では、公式練習の参加有無は、各チームの意向による。参加申込と同時に申し出て下さい。

※5月27日（水）15時までに各県事務局並びに出場校に「前日練習割」をメールにて連絡致します。

※雨天の場合は、別途連絡します。また、大会1日目の練習会場割り当てはありません。

※練習ユニフォームは原則、チームで統一すること。ただし、チーム事情等で統一できない場合は、事前に大会本部へ連絡すること。

19 宿 舎 ※すべて一泊朝食つき@¥9,900

出場校名	宿 舎 名	住 所	電 話	FAX
新潟県代表				
富山県代表				
長野県代表				
長野県代表				

※人数が多い場合は、また別途相談になります。

20 試合中の紛争処理

試合中に紛争が生じた場合は、その試合を担当する審判員が責任をもって処理する。

21 試合に関する諸規定

(1) 試合規定は、2026年度公認野球規則、日本高等学校野球連盟が定めた特別規則を適用する。

(2) 試合前練習は、外野でウォーミングアップ、キャッチボール、トスバッティングができる。

外野では、必ずアップシューズで行うこと。サイドノックは禁止とする。

(3) スパイクは、シートノックでグラウンドに入る直前にベンチで履き替えること。

(4) シートノックは原則として7分間ずつ行う。ただし、試合の進行等が遅れた場合は時間を短縮

するか省略することもある。なお、シートノックに練習補助員（生徒に限る）の参加を5名まで認める。練習補助員は必ずヘルメットを着用し、ノッカーへのボール手渡し、送球受球、ブルペン捕手等とし、ノックは絶対に受けないこと。また、女子部員の補助員を、ノッカーへのボール手渡しに限り、最大2名まで認める。ただし、責任教師の指導の下、高校野球にふさわしい運動着、運動靴で参加すること。

- (5) ノッカーが、監督、責任教師以外の場合は、大会本部に届け出ること。
- (6) ベンチ入り人員は、責任教師、監督、記録員（生徒に限る）各1名と登録選手18名以内の計21名以内とする。なお、記録員の服装は背番号のないユニフォームまたは学生服、トレーニングウェア、背番号のないユニフォームのいずれかとする。
- (7) 打者、走者及びベースコーチ、バットパーソン、ボールパーソンは、危険防止のため必ずSGマーク付き（製品安全協会認証）両耳つきのヘルメットを着用すること。色彩は、黒、紺または白のいずれか1色とし、表面にはチームの校名および、その頭文字、校章、番号以外の表示はできない。また、側頭部への校名等の表記を禁止し、前頭部を1ヶ所とする。なお、後頭部または側頭部への番号表記は差し支えない。捕手は守備につく際、必ずヘルメット、マスク（ともにSGマーク付き）、プロテクター、レガース、急所カップを着用すること。マスク、プロテクター、レガースの色彩は、黒、紺とし、ヘルメットの色彩と表記は打者用と同じ扱いとする。
- (8) 打席時の手袋着用及び、守備につく投手以外の野手の手袋着用を認める。
- (9) 金属バットの使用は日本高等学校野球連盟並びに全日本軟式野球連盟で許可したものに限り、硬式用金属バットの使用も認める。ただし、色彩（バット本体、商標）は、日本高等学校野球連盟が定めた「高校野球用具の使用制限」で規制したものに限り（金属の地金の色、木製に近い色または黒色）。商標表示は1色とし、表示の大きさは縦8センチ、横28センチ以内とする。なお、軟式用バットの打撃部への商標表示については、2ヶ所（表面、裏面）まで認める。また、テーパー部にはリングなど商標と認識されない印刷は認める。なお、木製、金属バット以外のバットの使用は認めない。（ビヨンド、ハイコンバットなど）
- (10) 走塁やベースコーチらが、捕手のサインを見て打者にコースや球種を伝える行為を禁止する。もし、疑わしい行為があれば、審判員はタイムをかけ、当該選手と攻撃側ベンチに中止し止めさせる。
- (11) コールドゲームは5回以降10点差、7回以降7点差とする。ただし、決勝戦には適用しない。
- (12) 延長戦となった場合は10回よりタイブレーク制度を実施する。タイブレーク制度の詳細は、高校野球特別規則22に準ずる。
- (13) 選手は選手資格証明書で登録した通りの背番号をつけること。
- (14) 危険防止のため、鉄棒、バットリングなどの持ち込みは禁止する。また、メガホンの持ち込みは1つとし、使用は責任教師、監督に限る。ベンチ内の選手は使用できない。
- (15) アピールは主将、伝令または当該選手に限る。審判のジャッジには抗議できない。
- (16) メンバー表の提出・攻守の決定は、第1試合の場合は試合開始予定時刻の40分前、第2試合は試合開始予定時刻の1時間前に大会本部前で行う。所定の用紙にオーダーを記入の上、両校の責任教師は主将を同行して集合すること。オーダー用紙は球場に到着次第速やかに提出すること。
- (17) 責任教師、監督、選手の登録変更は、開始式受付時まで認める。所定の用紙に記入の上、大会本部に提出すること。
- (18) 継続試合など、その他の規定は、全国高等学校軟式野球選手権大会試合規則に準ずる。
- (19) 1週間で500球の球数制限を設ける。
- (20) 指名打者 高校野球では規則5.11指名打者を採用する。

2.2 応援

- (1) 横断幕等はスタンドの最上部に取り付けること。
- (2) 応援は拍手を基本とし、大きな声での声援やハイタッチ等の身体の接触を伴う応援を禁止する。

23 その他

試合中に起こった不慮の事故に対しては、応急手当をする以外、主催者は一切責任を負わない。
前回優勝校の 松商学園 高等学校 は優勝旗を返還する。